

平成 30 年度 事業報告書

社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会

平成 30 年度社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会事業報告

〇はじめに

わが国では、総人口が 2008 年をピークに減少に転じており、少子高齢化の進展とともに、生産年齢人口が減少し、社会構造の変化から生じる社会・経済の担い手不足は、深刻な課題となっている。

当市においても、中山間地域における過疎化、若年層の市外流出、少子高齢化に伴う人口の自然減が続いており、公共施設や公共交通をはじめとする社会基盤の維持管理の問題など、持続可能なまちづくりが大きな課題となっている。

このような状況の中、平成 30 年度においては、大型スーパーの撤退、空家・空店舗の増加、買い物や移動など我々の生活に直結する様々な課題が顕在化している。

そこで、当会では、地域住民や行政はじめ多様な機関・団体が主体的に参画し、住民一人ひとりの暮らしや生きがいとともに創る地域共生社会の実現に向けて、社会構造や人々の暮らしの変化を踏まえ、経営基盤と組織ガバナンスの強化を図りつつ、第三次地域福祉活動計画の着実な進捗を図った。同時に判断能力が不十分な人や生活困窮者への支援、児童クラブの運営、各種在宅福祉サービス等の事業を総合的に展開した。

また、平成 30 年 4 月に事業継承した「かしわハNZ」の運営も順調に推移している。

なお、平成 31 年 3 月 31 日現在の職員数は、正職員 100 人、契約職員 42 人、非常勤職員 125 人、嘱託職員 17 人の計 284 人となっている。

〇法人運営部門(総務課 総務係・経理係)

「経営基盤と組織ガバナンス強化による法人の健全経営」

有期雇用契約職員が安心して働けるよう改正労働契約法による無期転換ルールを導入し、職員への周知等に取り組んだ。また、法人内における課題の早期発見と共有化、対応策の総合的な検討と迅速な対応を図るため、管理職による課題別プロジェクトチームを結成し、各種課題の解決に向けた取組みに着手した。

さらに、会長、常務理事、事務局長、各課課長が参加する合同会議を定期的で開催し、今、まさに現場で発生している問題への対応に万全を期すとともに、将来的に起こりうる潜在的課題の発見に努めるなど、経営基盤と組織ガバナンス強化による法人の健全経営に努めた。

1 法人運営機能の強化

(1) 組織推進体制・経営力の強化

※()内は 29 年度の実績

- ① 特定個人情報を含む個人情報の取り扱い、保管、管理の体制の構築を行った。
- ② 監査の実施 顧問税理士による会計業務月次監査 6 回、決算監査 1 回
- ③ 情報公開 ホームページや「福祉のひろば」における財務諸表等の公表
各事業所における事業計画、予算書、決算書の掲示

④ 組織規程の見直しと事業評価の導入

ア 管理職による業務の進捗管理と内部統制の強化

- (ア) 課長会議の開催 12 回
- (イ) 会長・課長合同会議の開催 10 回
- (ウ) 係長級以上の役職員へのヒアリングの実施 5 月、12 月、2 月
- (エ) 各係ごとの事業評価の実施 10 月

2 社会福祉協議会の会務運営

(1) 評議員会の開催：3回

開催日	出席人数	議 事
6月13日	15人	承第1号 平成29年度事業報告の認定について 承第2号 平成29年度決算の認定について ・監査報告について 議第1号 平成30年度資金収支補正予算(第1号)について 議第2号 定款の一部改正について 選第1号 理事の選任について
9月26日	15人	議第3号 平成30年度資金収支補正予算(第2号)について
3月20日	10人	議第4号 平成30年度資金収支補正予算(第3号)について 議第5号 平成31年度事業計画について 議第6号 平成31年度資金収支予算について 報第1号 事務局長の選任について

(2) 理事会の開催：4回

開催日	出席人数	議 事
5月23日	10人	承第1号 平成29年度事業報告の認定について 承第2号 平成29年度決算の認定について ・監査報告について 議第1号 平成30年度資金収支補正予算(第1号)について 議第2号 定款の一部改正について 議第3号 児童クラブ運営規程の一部改正について 議第4号 定時評議員会の招集の決定について 選第1号 評議員選任・解任委員の選任について 選第2号 評議員候補者の推薦提案について 選第3号 理事候補者の推薦提案について
9月19日	12人	議第5号 平成30年度資金収支補正予算(第2号)について 議第6号 赤坂山デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第7号 松波デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第8号 北条デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第9号 訪問介護事業所訪問介護・訪問型サービス(介護予防訪問介護相当サービス)運営規程の一部改正について 議第10号 訪問入浴介護事業所運営規程の一部改正について 議第11号 ゆたか訪問看護ステーション運営規程の一部改正について 議第12号 シニアエクササイズさんわ地域密着型通所介護事業運営規程の一部改正について 議第13号 赤坂山デイサービスセンター通所型サービス(介護予防通所介護相当サービス)運営規程の一部改正について 議第14号 松波デイサービスセンター通所型サービス(介護予防通所介護相当サービス)運営規程の一部改正について 議第15号 北条デイサービスセンター通所型サービス(介護予防通所介護相当サービス)運営規程の一部改正について 議第16号 シニアエクササイズさんわ通所型サービス(介護予防通所介護相当サービス)運営規程の一部改正について 議第17号 赤坂山デイサービスセンター通所型サービスA(緩和した基準によるサービス)運営規程の一部改正について 議第18号 松波デイサービスセンター通所型サービスA(緩和した基準によるサービス)運営規程の一部改正について 議第19号 北条デイサービスセンター通所型サービスA(緩和した基準によるサービス)運営規程の一部改正について 議第20号 シニアエクササイズさんわ通所型サービスA(緩和した基準によるサービス)運営規程の一部改正について 議第21号 評議員会の招集の決定について 報第1号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について

12月12日	10人	議第22号 シニアエクササイズさんわ地域密着型通所介護事業運営規程の一部改正について 議第23号 シニアエクササイズさんわ通所型サービス(介護予防通所介護相当サービス)運営規程の一部改正について 議第24号 シニアエクササイズさんわ通所型サービスA(緩和した基準によるサービス)運営規程の一部改正について 議第25号 柏崎市西地域包括支援センターくじらなみの移転について 報第2号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について 報第3号 平成30年度上期法人監査報告について 報第4号 有期労働契約者の無期転換について
3月13日	12人	議第26号 平成30年度資金収支補正予算(第3号)について 議第27号 平成31年度事業計画について 議第28号 平成31年度資金収支予算について 議第29号 事務局規程の一部改正について 議第30号 経理規程の一部改正について 議第31号 就業規則の一部改正について 議第32号 給与規程の一部改正について 議第33号 心配ごと相談所設置運営規程の一部改正について 議第34号 居宅介護事業所運営規程(移動支援事業・生活サポート事業)の一部改正について 議第35号 児童クラブ運営規程の一部改正について 議第36号 訪問介護事業所訪問介護・訪問型サービス(介護予防訪問介護相当サービス)運営規程の一部改正について 議第37号 居宅介護事業所運営規程の一部改正について 議第38号 柏崎市西地域包括支援センター設置規程の一部改正について 議第39号 柏崎市西地域包括支援センターくじらなみ(介護予防支援)運営規程の一部改正について 議第40号 評議員会の招集の決定について 選第4号 事務局長の選任について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催：1回

開催日	議 事
5月30日	(1) 評議員の選任について (2) その他

(4) 監査の実施：2回

開催日	名称	議 題
5月15日	決算監査	平成29年度決算
11月5日	現金出納監査	平成30年度上半期現金出納監査

(5) 正副会長会議及び委員会の開催：4回

開催日	名称	議 題
5月11日	地域福祉委員会 在宅福祉サービス委員会	・平成29年度事業報告の認定について ・平成29年決算の認定について
11月14日	正副会長会議	・柏崎市西地域包括支援センターくじらなみの移転について ・有期労働契約者の無期転換について
2月20日	地域福祉委員会 在宅福祉サービス委員会	・平成31年度事業計画(案)について ・平成31年度資金収支予算(案)について
2月27日	正副会長会議	・理事会議案について ・評議員会議案について

(6) 第三者委員会の開催：2回

開催日	議 題
5月16日	平成29年度下期 苦情・事故等の発生状況について 苦情14件、事故38件、ヒヤリハット211件
11月27日	平成30年度上期 苦情・事故等の発生状況について 苦情23件、事故110件、ヒヤリハット798件

※平成30年度年間総数 苦情36件、事故192件、ヒヤリハット964件

(7) 役員研修の実施

開催日	名称	議 題
10月30日～31日	先進地社協視察研修	山形県酒田市(株)福祉のひろば 新潟県民福祉大会(村上市) 参加者13人

3 職員の育成・組織力の向上

(1) 人材の確保と育成

- ① 専門職・介護職の確保・定着・育成・・・就職説明会への参加(5月)、処遇改善加算算定

ア 職員の採用

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
15人	6人	30人	1人	52人

イ 職員の退職

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
5人	8人	19人	2人	34人

- ② コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の専門性育成・・・職能団体加入勧奨

- ③ 高齢者・障がい者雇用の積極的な推進

ア 高齢者等の雇用の安定等の取組み・・・60歳以上の雇用職員 嘱託12人、非常勤38人
(嘱託8人、非常勤26人)

イ 障がい者雇用の取組み・・・嘱託1人、非常勤3人
総務課1人、赤坂山・松波・北条デイサービスセンター各1人
(嘱託1人、非常勤3人)

(2) 職員の資質向上と専門職の育成

- ① 人事考課制度

ア 正職員を対象にD0-CAPシートを活用した育成面接・・・2回

イ 人事考課委員会の開催・・・平成31年1月

(ア) 育成面接による目標管理、業務管理等人事考課制度を効果的に運用した。

(イ) キャリアパス・研修体制の構築を図り周知した。

(ウ) 国家資格等取得等の奨励及び助成・・・該当者なし

(3) キャリアアップ・内部登用制度の充実

- ① 国家資格等有資格者の正職員への登用・・・0人(2人)

- ② 非常勤職員から契約職員へ内部登用試験の実施による登用・・・2人(5人)

- ③ 改正労働契約法に伴う有期雇用契約職員の無期転換ルールの新設及び周知

ア 無期転換説明会・・・11月28日(同日2回開催)

イ 無期転換申出者数 契約 30 人、非常勤 31 人

(4) ワーク・ライフ・バランスの推進及び健康支援

① 安心して意欲的に働ける労働環境を整備

ア 有給休暇の取得促進

(ア) 年次有給休暇取得率

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
30.2%	46.0%	41.8%	43.5%	40.4%

(イ) 特別休暇 夏季休暇 3 日など (対象：常勤職員)

イ 育児休業・介護休業制度等の周知と取得の促進

(ア) 育児休業の取得 8 人 (5 人)

(イ) 子の看護休暇取得 10 人 (10 人)

(ウ) 介護休業の取得 0 人 (1 人)

ウ 各種助成金制度の取得推進、支援

(ア) 高年齢者雇用継続給付金 対象者 16 人、支給件数 52 件

(イ) 育児休業給付金 対象者 6 人、支給件数 34 件

(ウ) キャリアアップ助成金 支給件数 1 件

(エ) 特定求職者雇用開発助成金 対象者 2 人

(オ) 出産手当金 対象者 4 人

(カ) 傷病手当金 対象者 4 人

② 心と体の健康支援

ア 定期健康診断の実施 (3 日間) による早期発見及び要精密検査者への受診勧奨を実施した。

イ 人間ドックの受診助成 78 人 (73 人)

ウ 衛生委員会における健康障害防止対策及び安全衛生活動を推進した。

(ア) 衛生管理体制会議 2 回 (0 回)

(イ) 衛生委員会 12 回 (12 回)

(ウ) 交通事故発生情報等の周知、注意喚起の実施

(エ) 衛生委員会研修会 (交通安全、腰痛予防、メンタルヘルス) の開催 . . . 3 回 (3 回)

エ 心の健康に関する研修の実施により、メンタルヘルス対策を推進した。

オ ストレスチェックの実施と高ストレス者への対応 扇町 98 人中 4 人
(扇町 102 人中 6 人)

カ 感染症罹患者の特別休暇取得 12 人 56 日

キ 車両事故防止への取組み 運行前点検の徹底、管内の事故発生の周知

4 会員会費制度の実施

(1) 会員加入率の促進向上

当会の広報紙や会員加入促進運動のチラシ等で会費の使途を周知し、加入率向上に努めたが、市民への理解が広がらず、加入率の増加に繋がらなかった。

(2) 会員会費制度の推進

社会福祉協議会会員会費制度については、特別会員加入の特典として本会のホームページや広報紙への広告掲載を行い、新たな企業、団体からも加入の申し込みがあった。

(3) 会員会費の納入状況

① 一般会費

※()内は29年度の実績

全世帯数	会員数(世帯)	会費額(円)	加入率(%)
32,827 (32,857)	22,195 (22,522)	11,102,032 (11,311,079)	67.6 (68.5)

② 賛助会費及び特別会費

種 別	口 数	会費額(円)	人数・件数
賛助会費：1口 500円	807 (774)	403,500 (387,000)	464 (423)
特別会費：1口 5,000円	159 (171)	795,000 (855,000)	74 (75)
合 計	966 (945)	1,198,500 (1,242,000)	538 (498)

5 社会福祉協議会長表彰の実施

(1) 功労者表彰の実施 8月27日：柏崎市産業文化会館

- ① 社会福祉活動優良表彰(個人) 2人
- ② 永年勤続表彰 3人

(2) 福祉活動等功労者の顕彰と市民に対する住民福祉活動の啓発

多くの市民が参加したパートナーミーティングの席上にて、功労者を顕彰。当会広報紙や新聞等で住民に功績を周知するとともに、草の根福祉活動の啓発を図った。

6 柏崎市共同募金委員会への協力 10月～12月

7 日本赤十字社柏崎市地区への協力 5月～7月

8 経営基盤と財務規律の強化

(1) 管理職プロジェクトチームによる課題の検討を行った。

- ① 職員研修計画
- ② 地域包括支援センターの事務所移転
- ③ かしわハンズの作業場の増改築、グループホーム開設、移動支援事業

9 適正な会計業務の実施

(1) 顧問会計事務所による定期監査 6回

(2) 法人全体の出納管理及び予算・決算管理を実施した。

(3) 寄付金品の収受及び集計管理

種別	件数	金額(円)	備考
個人(現金)	13	1,828,846	
法人・団体(現金)	12	690,119	
個人(物品)	21	時価評価 3,740	食材料、米他
法人・団体(物品)	6	時価評価 0	米、タオル他

(4) 税務申告(消費税及び法人税)を実施した。

10 介護報酬請求及び各種申請、届出等に関する事務の実施

- (1) 介護報酬・利用者負担金等の請求管理・入金管理を徹底した。
- (2) 各種届出書を作成し、提出した。

○地域福祉推進部門

(地域福祉課 地域福祉係・生活支援係・こども支援係・高柳支所・西山支所)

「あたたかい心で支え合い、誰もが豊かに輝けるまちづくりの推進」

昨今の社会経済情勢の変化、人と人の繋がり希薄化等地域コミュニティの変容が叫ばれて久しい。それらを要因とする高齢者や障がい者の生きづらさ、引きこもり、地域的な孤立などの新たな生活課題、制度の狭間にある人への支援が地域課題となっている。

そこで、全ての人が、地域で安心して暮らせるよう地域共生社会の実現を目指し、2年目を迎えた第三次地域福祉活動計画(29年度～33年度)を推進した。

地域福祉係においては、地域食事サービス、年末のおせち料理配達事業等訪問による見守り活動を展開するとともに、誰もが気軽に集い、通うことができるふれあいサロンへの活動支援を実施し、何らかの支援を要する住民の孤立防止を図った。さらに、地域ケア会議への積極的な参加や住民同士が身近な地域福祉について話し合う地域懇談会等を開催し、住民相互が支え合う地域づくりに努めた。

また、西日本を襲った「平成30年7月豪雨災害」では、全社協から新潟県社協の属する関東Bブロックに災害支援業務の協力要請があり、地域福祉係から職員2人を派遣した。

生活支援係においては、日常生活自立支援事業や成年後見制度普及啓発等事業を通じ、高齢者や障がい者が地域で安心して暮らすことのできる権利擁護事業を展開した。また、生活困窮者自立支援事業では、自立相談支援事業を中心に、家計相談、就労準備、学習支援事業など、個別ニーズに対し、きめ細やかに対応するとともに、相談実績から個別のニーズや地域課題を分析し、困窮に陥らない地域づくりに努めた。

こども支援係においては、平成30年度に柏崎市から放課後児童クラブの運営主体を移管し、新たに受託した8クラブを含め13か所の運営を行った。また、平成31年度から西山地区を除く市内全域で運営を開始することから、事務局職員5人を施設研修に派遣し、中核的な人材の育成に努めた。

○地域福祉係

1 第三次地域福祉活動計画に基づく地域福祉の推進及び事業の展開

(1) 相談支援体制の充実

- | | |
|-----------------|-----|
| ① 地域ケア会議等への参加 | 41回 |
| ② 地域連携担当者会議への参加 | 6回 |

(2) 第三次地域福祉活動計画に沿った事業の展開と進捗管理

活動計画に掲げた基本目標に基づき、職員が出向き、各地区で展開されるサロンや地区福祉組織による住民福祉活動その他の助け合い活動に関する実態把握に努めた。

(3) 第三次地域福祉活動計画進捗管理

- | | |
|-----------|------------|
| ① 推進会議の開催 | 6月1日、1月29日 |
| ② 研修会の開催 | 12月3日 |

2 地域福祉推進事業

(1) 地域診断(地域実態調査)の実施と生活課題の把握

①高柳地区

市内でも特に高齢化率が高く、生活課題に関する相談の多い高柳地区において、町内会役員、民生委員と懇談会を開催し、ヒヤリングシートを利用した19集落の地域診断(実態調査)を行った。また、調査報告と地域生活課題検討を兼ねた地区懇談会を開催した。

②西山地区

西山地区 6 コミュニティセンターを訪問し、協議会長及び指導員と懇談会を持ち地域課題へのヒアリング調査を実施した。

(2) 地区福祉組織活動の支援

コミュニティセンター単位に設置されている地区福祉組織(柏崎地区 23 か所、西山地区 6 か所、高柳地区の 1 か所)の活動支援を目的に、社協会費や共同募金配分金を財源に事業費を助成した。

(3) ふれあいサロン(地域の茶の間)活動の推進

- ① ふれあいサロンへの活動助成 107 か所(106 か所)
- ② 福祉センターお茶の間サロンの開催：毎週水曜日 350 人(350 人)
- ③ ふれあいサロンボランティア研修会の開催： ①8 月 2 日 16 人
 ②10 月 5 日 25 人
 ③12 月 6 日 38 人
 合計 79 人(101 人)

(4) 地域食事サービス事業

- ① 17 地区で実施されたボランティアによる配食サービス及び会食サービスの支援
- ② 地域食事サービスボランティア研修会の開催：11 月 6 日 19 人(16 人)

(5) おせち料理配達事業 2,750 食(2,788 食)

見守り、声かけ活動を兼ねて、町内会長や民生委員等の協力を得ながら、年末に高齢者世帯等におせち料理を配達した。

市内 21 事業者に調理を委託し、地域の実情に応じ、民生委員協議会、地区コミュニティセンター協議会、町内会、地域ボランティア、社会福祉協議会職員が戸別配達を実施した。

(6) ふれあい総合相談所の運営

市民が抱える様々な困りごとに対して専門相談機関と連携を図りながら広く相談に応じ、問題解決を図った。

① 一般相談 相談員 7 人

相談名	相談日	相談件数
心配ごと相談	毎週月・火・木・金曜日	220 件(225 件)

高柳地区 1 回、西山地区 1 回の巡回相談を実施

② 専門相談 相談員：弁護士・司法書士・税理士・行政書士

相談名	相談日	相談件数
法律相談	毎月第 1・第 3 火曜日	56 件(70 件)
司法書士相談	毎月第 4 木曜日	36 件(21 件)
税金相談	偶数月第 2 火曜日	3 件(3 件)
行政書士相談	奇数月第 3 木曜日	9 件(10 件)
合 計		104 件(104 件)

③ 市民向け講演会の開催 33 人(59 人)

日時 平成 30 年 7 月 18 日(水) 柏崎市文化会館アルフォーレ マルチホール
 講義 「転ばぬ先の税金講座～終活の観点から贈与税・相続税について学ぶ～」
 講師 関東信越税理士会 柏崎支部 清水 文晴 税理士

(7) 広報・啓発活動

- ① 社会福祉協議会ホームページを活用した情報発信
 - ・ホームページのリニューアルを実施した。・・・ 3月31日現在アクセス累計 10,926件
 - ・広報かしわざきや各新聞社、コミュニティ放送等を利用した事業の広報
 - ・FACEBOOKページの運用・・・ 3月31日現在アクセス累計 11,057件
- ② わいわいがやがやフェスティバル開催：6月30日・・・ 来場者805人(914人)
- ③ おもちゃフェスティバルの開催：12月1日・・・ 来場者603人(542人)
- ④ 広報紙「福祉のひろば」の発行・・・ 6回(6回)
- ⑤ コミュニティセンターまつりへの参加・・・ 11地区(16地区)
- ⑥ ボランティアセンター情報紙「Fun ファン Fan」の発行・・・ 6回(6回)
- ⑦ コミュニティ放送や新聞社と連携し、事業や活動のPRを実施した。

(8) 福祉団体等への活動支援

事務局業務の委託を受け、各団体の運営を支援した。

3 ボランティアセンター運営事業

(1) 運営体制の充実

- ① ボランティアセンター運営委員会
 - ア 運営委員会の開催・・・ 4回(4回)
 - イ 視察研修の実施：11月12日・・・ 7人(7人)
視察先：新潟青陵大学「そらいろ子ども食堂」、NEXT21「まちなかほっとショップ」
新潟市万代長嶺小学校「地域と学校パートナーシップ事業」

(2) ボランティア活動の相談支援

- ① ボランティアに関する相談の受付・・・ 1,247件(1,378件)
- ② ボランティア登録システムの充実・・・ 84団体 2,276人、個人116人
(80団体 2,034人、個人114人)
- ③ 要援護者支援システムの運用、要援護者の情報管理等を実施

(3) ボランティア体験支援

- ① ボランティア育成講座の開催：入門編 9月25日、1月31日・・・ 10人(10人)
- ② ボランティア体験事業
 - ア サマーチャレンジボランティアの開催：7月末～8月・・・ 98人(92人)
 - イ 24時間テレビチャリティ募金：8月26日・・・ 26人(30人)
- ③ ボランティア交流会
 - ア Miniミニ講座・・・ 132人(135人)
 - イ ボランティア大交流会：3月10日・・・ 40人(59人)
- ④ ボランティアコーディネーター研修：3月10日・・・ 40人(24人)

4 福祉教育推進事業

(1) 福祉教育推進プログラムの活用と周知

- ① 福祉教育プログラムの学校・地域住民へ提案、開催支援等
 - ア 小学校・中学校長会で福祉教育プログラムの説明・・・ 2回
 - イ 福祉教育(特別事業)の開催・・・ 小学校7校、中学6校、高校1校、地域住民対象1地区、その他1か所(小学校9校、中学校4校、高校1校、地域住民対象3地区、その他2か所)
- ② ボランティア推進校助成事業の実施(助成総額390,000円)・・・ 10校(10校)

- (2) 福祉教育サポーター養成講座：6月1日 9人(15人)
 (3) 障がい児・者福祉活動事業障がい理解講座の開催：3月3日 35人(11人)

5 災害支援活動事業

(1) 柏崎地域生活応援事業（除雪ボランティア事業）

- ① 除雪ボランティアセンター設置 12月11日～3月1日
 ア 除雪ボランティア登録者 45人【内訳：市内25人、市外14人、県外6人】
 (47人【内訳：市内36人、市外3人、県外8人】)

イ 除雪ボランティア活動状況

除雪ボラ問合せ	活動件数	ボラ活動延べ人数	職員延べ人数
91件(183件)	19件(36件)	35人(117人)	14人(50人)

ウ 除雪ボランティア派遣状況

西中・中通	比角	南部	東	中・南鯖石	高柳	北条	計
0件 (1件)	0件 (1件)	8件 (13件)	0件 (4件)	2件 (9件)	9件 (7件)	0件 (1件)	19件 (36件)

エ 除雪ボランティアの登録及び活動調整

- コーディネーター委嘱 4人(5人)
 オ 冬囲い(落とし板取付け・取外し) 16件(17件)

(2) 県内外で発生する自然災害等復旧支援活動

- ① 平成30年7月豪雨災害 関東ブロック職員派遣(8月20日～8月25日) 2人
 ア 尾道市社会福祉協議会災害ボランティアセンター
 イ 尾道市・三原市社会福祉協議会災害ボランティアセンター福地サテライト

6 ふれあい給食サービス事業

(1) 毎日型給食サービスの実施

年度当初、市内の大手弁当業者の撤退表明に伴い、市内外の業者選定を行い、他市でも実績のある市外業者と委託契約を締結し毎日型の給食を継続した。

配 達 日	月曜日～日曜日(祝日及び年末年始を除く) 延配達日数 348日
配 達 数	延べ50,741食(52,389食) 年間実人数 3,307人 月平均人数 275.5人

7 指定管理事業

(1) 柏崎市総合福祉センター

障がい者、高齢者、児童、ひとり親家庭等、地域福祉推進を活動の目的とする団体等に対し、福祉センターの利用を促進し、活動の場の提供を行った。

① 総合福祉センター年間利用状況

会議研修室	調理実習室	研修室和室	会議室(1)
5,912人(5,238人)	1,937人(1,829人)	5,141人(6,864人)	4,958人(5,463人)
会議室(2)	作業研修室	プレイルーム	ボランティア図書・集客室
6,101人(5,363人)	6,697人(8,327人)	5,294人(6,084人)	3,064人(3,274人)
相 談 室	第三会議室	そ の 他	合 計
323人(326人)	1,018人(1,037人)	805人(1,456人)	41,250人(45,261人)

(2) 高齢者生活支援施設結の里

① 入居部門(定員 25 人) 3 月 31 日現在 21 人 (21 人)

ア 季節行事の実施

- ・お花見ドライブ：4 月 13 日 ・安全講話：4 月 27 日 ・えんま市ゲーム：6 月 9 日
- ・七夕のつどい：7 月 5 日 ・ミニ運動会：9 月 21 日 ・敬老会：10 月 16 日
- ・紅葉ドライブ：11 月 13. 14. 16 日 ・クリスマス：12 月 21 日 ・新年会：1 月 4 日
- ・豆まき：2 月 1 日 ・おひなまつり：3 月 5 日

② 施設管理

- ア 交流室利用回数 265 回、延 2, 155 人 (265 回、延 2, 125 人)
- イ 調理室利用回数 258 回、延 1, 937 人 (257 回、延 1, 839 人)
- ウ サロン利用人数 2 階集会室延 2, 062 人、3 階集会室延 2, 199 人
(2 階集会室延 2, 768 人、3 階集会室延 2, 454 人)

(3) 高齢者冬期共同住宅ひだまり (定員 8 人 11 月～4 月) 1 人 (2 人)

(4) 柏崎市西山町いきいき館

① 柏崎市西山町いきいき館年間利用状況

いきいきホール	食の広場 (調理室)	わくわく広場	かたくり (集会室)
6, 728 人 (6, 287 人)	689 人 (691 人)	1, 771 人 (1, 768 人)	394 人 (456 人)
ゆきわり (集会室)	つばき (集会室)	第 1 研修室	第 2 研修室
382 人 (390 人)	162 人 (244 人)	1, 874 人 (2, 418 人)	632 人 (541 人)
ボランティア室	福祉工房	相談室	健康づくり広場
47 人 (49 人)	338 人 (271 人)	16 人 (46 人)	192 人 (69 人)
その他			合計
997 人 (725 人)			14, 222 人 (13, 955 人)

8 共同募金配分金事業

(1) 一般募金配分金事業

① 赤い羽根パートナーミーティングの開催

日 時 平成 30 年 8 月 27 日 (月) 柏崎市産業文化会館 大ホール

- ・共同募金助成事業紹介 (柏崎市立柏崎小学校)
- ・記念講演

演題 「都合よく生きる～ストレスとうまくつきあうには～」

講師 寺田 理恵子氏 (フリーアナウンサー)

- ② 新一年生お祝い事業を実施した。 市内小学校新入生に鉛筆贈呈 625 人
- ③ 街頭募金への協力 10 月 5 日 108, 007 円
- ④ 地区コミュニティ祭り (11 地区) へたいやき屋台等を出店し共同募金事業の PR に協力した。

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業 おせち料理配達事業に配分 8 ページ参照

○生活支援係

1 生活困窮者自立支援事業

(1) 生活困窮者自立支援事業の受託

① 困窮者からの相談及び包括的に対応する自立相談支援事業の実施

ア 相談者実数	235 人 (214 人)
イ 相談対応延回数	2,936 回 (2,740 回)

② 家計相談支援事業

ア 家計相談支援事業利用者	79 人 (74 人)
---------------	-------------

③ 就労準備支援事業

ア 就労準備支援事業利用者	2 人 (10 人)
イ フリースペースぶらっと開催	24 回 (24 回)
延べ当事者参加数	127 人 (110 人)

④ 学習支援事業の実施

ア 訪問型利用者	15 人、延べ 452 回 (10 人延べ 162 回)
イ 集合型学習支援	
夏・冬・春休み、高校受験対策、こども食堂	44 日、延べ 260 人 (40 日延べ 183 人)
ウ 協力員登録者数	27 人 (16 人)

⑤ ギャンブル依存症に関する相談会の実施

2 回

(2) 生活福祉資金貸付事業の受託

① 生活福祉資金相談件数	70 件 (80 件)
② 貸付件数 緊急小口資金	0 件 (1 件 100,000 円)
③ 滞納者への償還指導	25 件

(3) 自殺予防のための相談支援体制の強化

① 保健所及びハローワークと協同によるワンストップ総合相談会の開催

ア こころとくらしの総合相談会	3 日間
-----------------	------

② 関係機関との連携

ア 関係機関とのケア会議・打合せ	143 回 (137 回)
------------------	---------------

2 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業の推進

① 利用者個々の生活にあったアセスメントとサービスの提供

ア 新規契約	41 人 (42 人)
イ 契約終了	26 人 (41 人)
ウ 契約に至らない相談	20 人 (14 人)
エ 3月31日現在利用者数	181 人 (166 人)

② 虐待ケースの相談、援助

ア 上記新規契約のうち虐待や搾取から保護するための契約(再掲)	7 人 (6 人)
イ 3月31日現在利用者数(再掲)	21 人

③ 地域包括支援センターや地域生活支援センター、居宅介護支援事業所等の連携

ア ケア会議の参加	190 回 (128 回)
-----------	---------------

④ 新潟県社会福祉協議会及び基幹社協である長岡市社会福祉協議会との連携

ア 平成30年度日常生活自立支援事業市町村社会福祉協議会移行推進会議	10月22日
イ 新潟県社会福祉協議会日常生活自立支援事業利用者(3月31日現在)	5 人 (7 人)

(2) 在宅福祉サービス推進部門との合同事例検討会

1月29日

3 成年後見制度事業

(1) 成年後見制度普及啓発事業の受託

① 成年後見制度に関する相談	43 件 (26 件)
② 本人、親族等の申し立て手続きの支援	14 件 (13 件)
③ 市長申立の手続き支援	7 件 (5 件)
④ 成年後見制度を周知するための研修会の開催や広報	
ア 金融機関情報交換会：8 月 8 日	14 人
イ 支援者のための成年後見制度研修会：12 月 19 日	
講師 新潟県社会福祉士会 渡辺 信也 社会福祉士	35 人
ウ 成年後見制度研修会：3 月 5 日	
講師 柿崎 啓子 司法書士	75 人

(2) 市民後見人が活動しやすい体制の整備

① 市民後見人フォローアップ講座の開催	
「権利擁護支援従事者研修」：9 月 27 日	
講師 全国権利擁護支援ネットワーク代表/國學院大學教授 佐藤 彰一 弁護士	
知多地域成年後見センター事務局長 今井 友乃 氏	
PAS ネット理事長 上田 晴男 氏	42 人
② 市民後見人の活動団体を立ち上げるための体制整備	
市民後見定例会	12 回、延べ 214 人

(3) 身寄りのない方を支援する仕組みづくりのためのワーキング開催

① 成年後見ワーキング	9 回、延べ 144 人
② 身寄りのない方の支援を考える勉強会：1 月 10 日	92 人
講師 身寄りなし問題研究会代表 須貝 秀昭 社会福祉士	
講師 柏崎しおかぜ法律事務所 近藤 千鶴 弁護士	

4 法人後見事業

(1) 法人後見運営委員会の開催

3 回 (1 回)

(2) 法人後見の受任

① 新規受任	4 件 (9 件)
② 終了	2 件 (2 件)
③ 3 月 31 日末現在受任件数	22 件 (20 件)

(3) 法人後見事業の支援員として活動する市民後見人のバックアップ

① 市民後見人の活動	3 月末 19 人 (20 人)
------------	------------------

5 地域移行等支援事業

(1) アパート生活を通しての社会生活体験機会の提供と地域生活移行への支援

① 施設や病院に長期間入所・入院する障がい者等の地域生活への移行準備	4 人 (4 人)
② 生活困窮やホームレスなど緊急的な利用	9 人 (7 人)
③ 虐待や DV からの保護	8 人 (1 人)
④ 実利用人数	21 人 (12 人)
総利用日数	813 泊 (852 泊)

○高柳支所・西山支所

(1) 高柳支所

① 集いの場づくり支援協力	
ア 地区健康懇談会への参加	3 回
イ 地域サロンへの参加	9 回
ウ 高柳・Y・O・U・遊・悠への参加	1 回
② 情報交換会	
ア 高柳地区民生委員・児童委員協議会への参加	10 回
イ 高柳医療福祉を考える会への参加	10 回
ウ 高柳を育てる会への参加	3 回
エ 高柳地区懇談会の開催:12 月 14 日	参加者 38 人
オ 地域づくりワークショップへの参加:2 月 25 日 (出席職員 3 人)	

(2) 西山支所

① 子育てサロンの開催と子育てサークル活動の支援	
ア ふれあい子育てサロンの活動支援 毎週月・金曜日	444 人 (524 人)
② 通いの場、集いの場づくり支援	
ア 西山コムサロン (買い物支援付き 毎週木曜日)	214 人 (176 人)
イ 草生水ひろば (開放型サロン 毎週水曜日)	39 人 (98 人)
ウ 健康づくり増進事業 足育講座の開催:3 月 22 日	12 人 (24 人)

○こども支援係

1 柏崎市立児童クラブ運営受託事業

(1) 児童クラブ運営業務受託事業:年間延べ利用者数

※表中 () は平成 29 年度の延べ利用者数。平成 29 年度は 5 クラブ延べ 32,979 人。

(2) 平成 30 年度の延利用児童数 13 クラブ 79,540 人

① 比角第一児童クラブ

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
6,121 人 (6,580 人)	4,934 人 (4,824 人)	3,371 人 (4,575 人)	1,922 人 (1,265 人)	155 人 (0 人)	0 人 (0 人)	16,503 人 (17,244 人)

② 比角第二児童クラブ

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
1,976 人 (1,543 人)	1,158 人 (1,471 人)	1,335 人 (1,174 人)	505 人 (1,276 人)	179 人 (326 人)	141 人 (0 人)	5,294 人 (5,790 人)

③ 中通児童クラブ

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
1,928人 (741人)	760人 (777人)	657人 (664人)	50人 (213人)	0人 (0人)	0人 (0人)	3,395人 (2,395人)

④ 北条児童クラブ

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
780人 (951人)	781人 (996人)	702人 (1,373人)	608人 (1,585人)	645人 (0人)	0人 (0人)	3,516人 (4,905人)

⑤ 米山児童クラブ

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
482人 (672人)	374人 (911人)	664人 (183人)	180人 (672人)	182人 (207人)	217人 (0人)	2,099人 (2,645人)

⑥ 東部児童クラブ (新規受託)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
1,993人	3,655人	1,178人	1,519人	135人	1人	8,481人

⑦ 半田第一児童クラブ (新規受託)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
3,027人	3,155人	2,112人	502人	0人	0人	8,796人

⑧ 半田第二児童クラブ (新規受託)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
2,038人	2,313人	2,088人	79人	0人	0人	6,518人

⑨ 荒浜児童クラブ (新規受託)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
3,037人	3,305人	216人	867人	19人	0人	7,444人

⑩ 北鯖石児童クラブ (新規受託)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
3,334人	1,078人	1,416人	832人	517人	0人	7,177人

⑪ 鯖石児童クラブ (新規受託)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
1,628人	486人	1,339人	548人	0人	92人	4,093人

⑫ 大洲児童クラブ (新規受託)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
1,183人	1,759人	699人	36人	9人	0人	3,686人

⑬ 鯨波児童クラブ (新規受託)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
415人	882人	586人	655人	0人	0人	2,538人

(3) 職員研修

平成31年度(令和元年度)から柏崎、剣野第一・第二、田尻第一・第二、枇杷島第一・第二、新道、日吉の9クラブを新たに受託することから、円滑な運営主体の移行を目的に、当該クラブへ職員を派遣し、引継を実施する計画であった。しかし、柏崎市直営クラブで勤務する支援員の大半が、運営主体の移行後も、引き続き当会で勤務することとなったため、職員の派遣を見合わせることにした。

また、新年度からの運営規模の拡大に対応するため、児童クラブで働く職員を指導・育成できる中核的な職員育成を目的として、事務局職員5人を公立保育園へ3日間延24時間の研修に派遣した。

(4) こども食堂

誰もが集い、悩みを話せる居場所を目指し、毎月 1 回、総合福祉センターにおいて、こども食堂を開催した。こどもやその保護者等へ温かい食事を提供するほか、食事前に学習時間を設けるなど、生活困窮者自立支援事業（学習支援）と協働し、プログラムの充実に努めた。

① 総合福祉センター

開催日	参加者数	メニュー
4 月 17 日（火）	参加者 17 人 スタッフ 7 人 学習ボランティア 4 人	チキン南蛮、キャベツのサラダ、ごはん、味噌汁
5 月 16 日（水）	参加者 25 人 スタッフ 5 人 学習ボランティア 5 人	五目ごはん、アスパラソテー、お吸い物、みかんゼリー
6 月 21 日（木）	参加者 19 人 スタッフ 6 人 学習ボランティア 2 人	ししゃもフライ・ちくわフライ、パスタサラダ、ごはん、味噌汁、ホットケーキ
7 月 18 日（水）	参加者 26 人 スタッフ 7 人 学習ボランティア 4 人	チャーハン、春巻き、ナムル、春雨スープ
8 月 23 日（木）	参加者 8 人 スタッフ 7 人 学習ボランティア 3 人	カレーライス、ポテトサラダ、じゃがいもの冷製スープ、フルーツポンチ
9 月 19 日（水）	参加者 42 人 スタッフ 5 人 学習ボランティア 4 人	ちらし寿司、お吸い物、豆腐入り肉団子、人参とピーマンとツナのきんぴら
10 月 16 日（火）	参加者 7 人 スタッフ 13 人 学習ボランティア 1 人	さつまいもごはん、豚汁、磯香あえ、柿
11 月 14 日（水）	参加者 27 人 スタッフ 6 人	かぼちゃコロケ、糸瓜とキャベツのサラダ、ごはん、かにかまと白菜のスープ、スイートポテト
12 月 20 日（木）	参加者 35 人 スタッフ 18 人 学習ボランティア 4 人	コーンライス、白菜と肉団子のスープ、大根餅、コールスロー
1 月 16 日（水）	参加者 16 人 スタッフ 10 人	五目いなり・おにぎり、味噌汁、鶏肉の照り焼き、フライドポテト
2 月 21 日（木）	参加者 22 人 スタッフ 11 人 学習ボランティア 3 人	麻婆大根、大根サラダ、ごはん、中華スープ
3 月 14 日（木）	参加者 21 人 スタッフ 9 人 学習ボランティア 3 人	鮭とわかめのごはん、シーフードグラタン、スクランブルエッグ、ウインナー、スープ、パンケーキ

(5) こども食堂ミーティングの開催 26 人
市内において、こども食堂の取り組みが広がっていることから、運営者同士の交流を目的に開催した。

日 時 平成 30 年 12 月 1 日（土） 柏崎市西山町いきいき館

講 義 「こども食堂とは？～こども食堂を運営する上での課題共有～」

講 師 新潟県立大学人間生活学部子ども学科 小池由佳 教授

(6) こども食堂立ち上げ支援助成事業の実施

市内でこども食堂を立ち上げる組織・団体を支援するため立ち上げ支援助成事業を実施した。助成期間は 3 年間。1 年目 100,000 円、2 年目 3 年目は 60,000 円の助成。

団体名	助成年数	助成額	開催地区
陽気なごはん実行委員会	1 年目	100,000 円	寿町
半田こども食堂	1 年目	100,000 円	半田

○在宅福祉サービス事業部門

(訪問事業課・介護支援事業課・障害福祉事業課・通所介護事業課)

「地域の力を活かした『つながる介護』の実践」

在宅福祉サービス部門では、介護報酬、診療報酬、障害福祉サービス等報酬の同時改定が行われ、収益状況が厳しくなる中、それぞれの事業所が工夫を凝らし、利用者に寄り添ったサービスの提供に努めた。

訪問事業課では、高齢者や障がい者の多様な生活ニーズに対応するために、訪問介護事業、訪問入浴介護事業、訪問看護事業を実施した。利用者が残された機能を最大限に活かしながら日常生活をおくることができるように、柔軟にサービスを提供し、利用者の生活の質の向上と家族の介護負担の軽減に努めた。

介護支援事業課では、高齢者が住みなれた地域で、生きがいを持って自分らしく、安心して暮らせるよう、居宅介護支援事業所と地域包括支援センターが連携し、関係行政機関、医療サービス機関、関係団体と綿密な連携を図り、生活困窮者や高齢者等の支援を要する者へ、総合的なサービスの提供に努めた。また、地域包括支援係では、事業連携及び利便性の向上と、地域に根付いた相談体制の強化を図るため、「柏崎市西地域包括支援センターくじらなみ」を赤坂山デイサービス内に移転することとし、「柏崎市西地域包括支援センターあかさかやま」の平成31年4月開設に向けての準備を行った。

障害福祉事業課では、障がい者等が地域で自分らしく生活していける支援を目的として、相談支援事業、居宅介護事業、就労継続支援事業(平成30年4月にNPO法人かしわハンズより事業継承)を実施し、利用者や家族から信頼される充実したサービスの提供に努めた。

通所介護事業課では、住み慣れた地域の中で、馴染みの人たちに囲まれた生活を大切にし、できないことの支援ではなく、できていることの継続、こころの支えとなる質の高いサービス提供に努めた。理学療法士を配置し、機能訓練を実施したことにより、利用者の身体機能の維持と向上に努めたことで、できることの範囲を拡大し、介護負担軽減の一助となった。また送迎体制の一部見直しなどにより利用者の獲得に努めた。

職員の資質向上を図るため「交通安全」「メンタルヘルス」「事例検討」をテーマに、地域福祉課・在宅福祉サービス部門との合同研修等を開催した。

在宅福祉サービス部門の事業運営会議を2回開催し、介護保険事業の進捗状況等の共有化を図り、各課事業運営の効率化、課題の共有に努めた。

○ 訪問事業課(訪問介護係・訪問入浴係・訪問看護係)

1 訪問介護事業

訪問介護では、地域の関係職種と連携を図りながら、処遇困難ケースや中山間地域における利用者支援を積極的に実施した。また、他の事業所が敬遠し実施しない総合事業の訪問型サービスAについても、対象者の支援を継続した。

職員体制においては、育児休業や予定外退職が重なり、職員に不足が生じたが、3チームの応援体制を強化し、業務の効率化に努め、遅滞なくサービス提供できた。

(1) サービス提供体制の充実・強化

- ① サービス提供責任者による訪問介護員へのきめ細やかな指導及び業務管理を実施した。
- ② 訪問手順書及びサービス提供マニュアルの定期的な見直しの実施・・・定例の検討会の実施6回
- ③ 介護者等に対し、療養や介護に関する相談・助言を実施した。
- ④ 効率的な訪問計画の作成及び稼働率の向上・・・・・・・・・・3チームで横断的に訪問を実施した。
- ⑤ 関係機関及び他職種と連携し支援を実施した。
- ⑥ 総合事業の利用者に対しての支援を継続した。

(2) 職員の資質向上

① 職員一人ひとりの技能に応じた研修計画の作成と実施

毎月定例の係内研修の実施

内容：事故対応、利用者の緊急時の対応について、守秘義務・個人情報について、認知症の理解、調理実習（電子レンジで簡単調理、日持ちする料理）、高齢者虐待について、コミュニケーション技法、情報共有について、てんかんの知識、救急法、アンガーマネジメント

- ② 県内外の研修会への参加 25 人
- ③ 自己点検振り返りシートの活用 2 月
- ④ サービス提供責任者会議の実施 24 回

(3) 事故防止への取り組み

- ① 苦情対応・介護・車両事故事例、ヒヤリハット事例の収集・分析を行った。
- ② 事故防止策及び緊急時対応マニュアルの見直しの実施 4 月、9 月
- ③ 緊急時対応についての研修実施 4 月、12 月

(4) 広報活動等の実施

- ① 利用者を対象とした定期的なヘルパー情報紙の発行 5 月、6 月、1 月発行
- ② 利用者・介護者へのサービス満足度調査の実施：2 月 . . . 配布 115・回収 82・回収率 71.30%

(5) 訪問実績

※（ ）内は 29 年度の実績

① 総合事業（要支援 1・2・事業対象者）

年間介護予防利用者 (平成 29 年 3 月末事業終了)		年間総合事業・介護予防訪問 介護相当サービス利用者		年間総合事業・訪問型 サービス A 事業利用者	
派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数
0 件 (360 件)	0 件 (2,064 件)	174 件 (108 件)	1,068 件 (516 件)	601 件 (336 件)	2,964 件 (1,536 件)

② 訪問介護（要介護 1～5）

年間派遣世帯数	2,256 件 (2,401 件)
年間派遣延件数	32,208 件 (34,440 件)

③ 法定外サービス

年間派遣世帯数	60 件 (108 件)
年間派遣延件数	78 件 (168 件)

③ 訪問介護実習同行訪問

受入人数	2 人 (3 人)
受入延日数	6 日 (8 日)

2 訪問入浴介護事業

高齢者、障がい者の身体の清潔保持、健康の維持・増進を図るため、介護保険による訪問入浴介護及び市から受託の障害者訪問入浴サービスを実施した。入院や死亡等の利用中止により利用者実数の減少が続く現状を見据え、訪問入浴車両2台でスタートし、常勤専従職員、訪問介護係兼務職員及び非常勤職員を適切に配置し、業務の効率化に努めた。

(1) サービス提供体制の充実・強化

- ① 全身状態を確認し、状態変化の早期発見及び介護者等への情報提供を行った。
- ② 介護者等への療養及び介護に関する助言・指導を行った。
ア 関係機関との連携及びネットワークの構築に努め、情報交換を密にした。
- ③ 柏崎市障害者訪問入浴事業の利用者への支援を継続した。
- ④ 訪問入浴車両を2台体制にして業務の効率化を図った。

(2) 職員の資質向上

- ① 職員一人ひとりの技能に応じた研修計画を作成し実施した。
- ② 常勤会議、係内会議の開催・・・12回
- ③ 自己点検振り返りシートの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2月
- ④ 県内研修会への参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3人

(3) 事故防止への取り組み

- ① 苦情対応、介護・車両事故、ヒヤリハット事例の収集・分析・・・・・・・・・・・・9月・10月
- ② 事故防止策及び緊急対応マニュアルの見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10月
- ③ 緊急時対応についての研修実施(消防署に講師依頼)・・・・・・・・・・・・・・12月

(4) 広報等活動の実施

- ① 関係機関への情報の提供を行った。
- ② 利用者・介護者へのサービス満足度調査：1月・・・・・・・・・・・・配布17・回収15・回収率88.2%

(5) 設備整備

- ① 車両積載ボイラー定期的点検の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月
- ② 排水ポンプ、担架ネット、浴槽の点検を実施し安心安全なサービスの提供に努めた。

(6) 訪問実績

① 訪問入浴介護事業の実施

年間利用者実人数	257人(404人)
年間延利用者件数	1,154件(1,726件)

② 障害者訪問入浴サービス事業の実施

年間利用者実人数	24人(24人)
年間延利用者件数	210件(198件)

3 ゆたか訪問看護ステーション事業

リハビリニーズへの対応と新規依頼に円滑に応えるため、職員を増員して新年度をスタートした。年度途中で職員の交代があったが、トラブルなく対応する事ができた。新規依頼については断らず、受入れを積極的に行った。体調確認、リハビリ、認知症の方や医療処置の必要な方など、幅広く受入れを行なうことができた。

(1) サービス提供体制の充実・強化

- ① 利用者の病状や状態の把握及び適切な看護サービスの提供を実施した。
- ② 利用者への療養指導・介護者に対しての介護指導を実施した。
- ③ 作業療法士による個別リハビリメニューの提供を実施した。
- ④ 緊急時における臨機応変かつ柔軟な対応を行った。
- ⑤ 関係機関との連携及びネットワークの構築による密接な情報交換を実施した。
- ⑥ 効率的な訪問計画を作成し、稼働率の向上を図った。

(2) 職員の資質向上

- ① 職員一人ひとりの技能に応じた研修計画を作成し、実施した。
- ② 県内外研修への参加 県外研修 2 人、県内研修 7 人
- ③ 自己点検振り返りシートの活用 3 月

(3) 事故防止への取り組み

- ① 苦情対応、介護・車両事故、ヒヤリハット事例の収集・分析・毎月係内会議にて検討実施
- ② 事故防止策及び緊急時対応マニュアルの見直し 4 月
- ③ 緊急時対応についての研修実施 7 月

(4) 広報活動等の実施

- ① 利用者・介護者へのサービス満足度調査の実施：平成 31 年 2 月 (配布 109・回収 94・回収率 86%)

(5) 訪問実績

年間介護予防利用者		年間要介護利用者		年間医療保険利用者	
派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数
190 件 (136 件)	797 件 (566 件)	964 件 (992 件)	4,200 件 (3,895 件)	302 件 (284 件)	1,302 件 (1,234 件)

○ 介護支援事業課

(介護支援第一・二係・地域包括支援係(柏崎市西地域包括支援センターまちなか・くじらなみ))

介護支援事業課では、地域包括ケアシステムの構築に向け、個々の相談者に寄り添い、必要な支援やサービス提供を行うとともに、地域の特性に応じた相談援助を行った。また、総合事業の適切な対応と自立支援型ケアマネジメントの推進を図り、専門職としての資質や問題解決能力の向上を目指し、各種研修や事例検討に取り組んだ。

柏崎市から受託している介護者リフレッシュ事業を例年通り開催し、在宅で介護を行う介護者の情報交換や介護に関する学習会を通して、介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図った。

1 居宅介護支援事業

居宅介護支援事業所では、中山間地域等の遠方も含め市内全域を担当した。ケアプランの作成を通して、サービス提供事業者等との連絡調整を行い、要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して自立した生活が継続できるよう支援した。また、利用者の意向に添いながら、相談援助の専門職として、家族を含めたその人の生活全般の課題やニーズに対応できるよう利用者個々の状況に応じて支援を行った。

(1) 困難ケースに対応できる体制の整備

- ① 主任介護支援専門員資格を有する4人の職員を中心に、様々な困難を抱えるケースに関する対応を検討する事例検討会を開催した。 3回
また、市内地域包括支援センターが主催する事例検討・研修会に出席し、他事業所の介護支援専門員と事例を通じて困難ケースへの対応を検討した。 3回
- ② 主任介護支援専門員が中心になり、事例検討会のデータを収集、整理を行った。
- ③ 困難ケースに関わる関係機関との情報共有、連携を密に行い、適切なケアマネジメントを実施した。
- ④ 地域包括支援係と合同の課内研修会を実施した。 1回

(2) 法令を遵守したケアマネジメント業務の遂行

- ① 関係機関と連携しながら、利用者及び家族の意向を尊重した適切なアセスメント及びケアプラン作成を行った。
- ② 個人情報の取り扱いについては細心の注意を払いながら業務を遂行した。また、係内で個人情報の取り扱いに関する研修を実施した。 1回
- ③ 市が主催する自立支援検討型地域ケア会議に事例提供し、自立支援に向けたケアプランの作成についての助言指導を受けた。 事例提供 4件
- ④ 自己点検表を活用し、法令を遵守したケアマネジメント業務が遂行されているかの自己点検を行うとともに、月1回職員間でケアマネジメント業務の内部チェックを実施した。

(3) 利用者のニーズを重視したサービスの確立

- ① 市内サービス事業者のパンフレット等を収集し、利用者がサービス選択を行う際の参考資料として活用した。また、公正、中立性を確保するため、利用者は複数の事業者の紹介を求めることができることを説明し、利用者の意向に沿ったサービス選択ができるよう支援した。
- ② 適切な助言・指導を行うための主任介護支援専門員の配置 4人(平成31年3月末)
- ③ 24時間の連絡体制を整備し、利用者、家族からの相談受付や緊急時対応を実施した。 電話対応等件数累計 707件(733件)
- ④ 事業所内で共有する必要がある利用者の情報や、市内の介護サービス事業所等に関する情報を共有する会議を毎日開催した。 共有した利用者情報 延べ 226件

(4) 資質向上の取り組み

- ① 介護サービス情報公表制度の調査項目を活用し、事業所運営についての自己点検・評価を行った。また、適切な業務運営を行うために業務改善会議を行った。 2回
- ② 県内外の研修等へ積極的に参加し、その後復命研修を実施することで、全職員の資質向上に努めた。 研修参加者 延べ 90人
- ③ 毎月1回、係内研修を開催し、情報共有やケアマネジメントに関する研修を行った。
- ④ 主任介護支援専門員資格を取得するための研修に参加し、1人が資格を取得した。
- ⑤ 地域福祉部門と在宅福祉サービス部門との合同研修会を実施し、事例検討や災害時の対応等を通じて多職種連携の意識を深めた。
- ⑥ 新潟県介護支援専門員実務研修見学実習機関として登録し、実習生を受入れ、主任介護支援専門員4人が実習指導を行った。 受け入れ人数 1人 受入日数 3日

(5) 事故防止への取り組み

- ① 報告されたヒヤリハット事例を職員間で共有するとともに、再発防止策の検討を行った。また、苦情には、苦情対応マニュアルに沿って状況や事実確認を行ったうえで、利用者及び家族への謝罪と今後の対応や再発防止策等を検討し、説明を行った。
- ② 週1回全職員で行う車輛点検と、運行記録表に基づく車輛乗降時の点検を実施し、故障等の早期発見及び事故防止に努めた。
- ③ 事故発生時には速やかに必要な対応を行い、再発防止に向けた改善項目を協議し、事業所内に周知した。
- ④ 緊急時対応の知識を深めるため、新潟県介護支援専門員協会が主催する災害時対応研修会に5人が出席した。

(6) 他職種連携

- ① 関係機関への提言、本会各部署への情報提供及び地域福祉課との協力・連携を行った。

(7) 居宅介護支援事業所実績

① 請求実績

※()内は29年度の実績

年間居宅介護支援利用者	7,050人(7,192人)
年間介護予防支援利用者	283人(427人)
年間介護予防ケアマネジメント利用者	228人(164人)
介護支援専門員一人当たりの担当者数	38.1人(39.3人)

② 職員の資質向上

事例検討会	6回(9回)
係内研修	12回(12回)
介護支援専門員更新研修	3人(2人)
主任介護支援専門員更新研修	1人(0人)
主任介護支援専門員取得	1人(1人)
県内外研修参加者(延べ)	90人(47人)

県外研修：「全ての介護関係者に求められる生きるを支える看取り介護」：主催 日総研

「認知症高齢者への適切な声掛け・対応・接し方」：主催 日総研

2 介護者リフレッシュ事業

柏崎市からの受託で、在宅で家族等を介護している介護者を対象に介護者同士の交流と語らいの場を設け、日頃の疲れを解消できるよう日帰りコースを年3回開催した。

第1回：「施設見学ツアー」 7月31日：22人

見学先：介護付有料老人ホーム「ロージィ・コート柏崎」

特別養護老人ホーム「ペペ・メメール」

第2回：「気軽にホッと・介護者カフェ」 10月11日：10人

会場：珈琲所 コメダ珈琲店 柏崎店

第3回：「施設見学&じょんのび温泉ツアー」 12月5日：9人

見学先：グループホーム「つむぎの家 かのん」、地域密着施設「ひなた」

会場：高柳じょんのび村

平成30年度実績 3回：41人(平成29年度実績 4回：33人)

3 地域包括支援係(西地域包括支援センターまちなか・くじらなみ運営受託)

地域包括支援係(柏崎市西地域包括支援センターまちなか・くじらなみ)は、「まちなか」担当の市街地及び「くじらなみ」担当の海岸から上米山地区までの西圏域を担当しており、介護サービス事業の不足も地域の課題として継続する中、虐待や困難事例にも数多く対応した。高齢者全般の身近な相談窓口として、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、包括的支援事業・介護予防・日常生活支援総合事業・介護予防事業を実施し、地域包括ケアシステム構築に向けた体制づくりに努めた。

(1) 包括的支援事業

① 柏崎市西地域包括支援センターまちなか・くじらなみの運営

ア 公益性・地域性・協働性の3つの基本的視点に立脚したセンター運営を行った。

② 総合相談・支援業務

ア 総合相談は、介護保険利用の為の相談が圧倒的に多く、相談時には重症化のケースも増えた。

イ 現況調査は、柏崎市から民生・児童委員を通じて行う実態把握を依頼され、実施した。

③ 担当圏域における地域包括支援ネットワークの構築

ア 地域ケア会議の開催

(ア) 個別ケア会議

「まちなか」では、北園町エリアで1件、駅前エリアで1件、西本町エリアで1件の計3回実施した。

「くじらなみ」では、剣野地区のケース2件、大洲地区のケース1件の計3回実施した。

(イ) 圏域会議

「まちなか」では東本町エリアを重点地区として地域ケア圏域会議を開催した。また、平成29年度の駅前エリアで開催した会議に基づき鏡町にてミニケア圏域会議を開催した。

「くじらなみ」では鯨波地区を重点地区として地域ケア圏域会議を開催した。

その他、当初予定していなかった上米山地区でも地域ケア圏域会議を開催した。

(ウ) モニタリング会議

「まちなか」では、モニタリングを含めて鏡町でミニケア圏域会議を開催した。

「くじらなみ」では、米山地区でモニタリングを含めて米山町の班長・評議員会に出席した。

イ 西地域包括支援センター通信の発行・・・・・・・・・「まちなか」2回、「くじらなみ」2回

④ 市内全域における地域包括支援ネットワークの構築

ア 柏崎市地域包括支援センター連絡会議・・・・・・・・・月1回

イ 地域包括支援センタープロジェクトへの参加

「事業所育成・スキル向上」「地域ケア会議」「地域づくり・介護予防」「医療介護連携」「認知症施策」三職種は5つのプロジェクトのいずれかへ所属し、プロジェクト会議に参加した。

ウ 高齢者虐待防止ネットワーク会議へ参加し、認知症サポーター養成講座の開催、オレンジカフェ等への協力を行った。

⑤ 権利擁護業務

ア 高齢者虐待の防止及び対応では、同じ家庭内で別の問題も抱えている等、困難事例が増加した。

イ 成年後見制度及び日常生活自立支援事業では、包括通信の発行やくらしのサポートセンター等に出向きチラシ等配布し、啓発活動を行った。

ウ 消費者被害の防止では、コツコツ貯筋体操やサロンを訪問し、啓発活動を実施した。消費生活センターと共働で活動するなど、必要に応じて消費生活センターからの最新情報を地域に発信した。また、消費契約トラブルに係る合同意見交換会に出席し、関係機関と情報共有や連携強化を図った。

⑥ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ア 高齢者の多様な課題、心身の状態、生活環境、ニーズに応じたケアマネジメント支援では、アセスメントを行い、そのケースの課題に対し支援を行った。
- イ 介護支援専門員へのサポートでは、利用者の認知症に絡んだ支援や、世代を超えてその世帯が抱える問題が複合的で、介護保険事業だけではマネジメント困難な事例等に対するケアマネ支援を行った。
- ウ 関係医療機関の連絡会議は、他職種合同研修、看護師交流研修、自殺予防研修、新潟県在宅医療・介護連携推進セミナー、平成30年度柏崎刈羽地域認知症対策推進委員会、若年性認知症支援者研修・支援ネットワーク会議、柏崎認知症カンファレンスに参加。
- エ 地域における介護支援専門員ネットワークを活用して、連携の強化を図った。

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業

① 介護予防ケアマネジメント事業

- ア 訪問介護・通所介護のみを利用する要支援者及び事業対象者へのケアマネジメントを行った。
- イ 現行相当サービスの必要な方に対する確認書を作成し、状態に合ったサービスが利用できるよう支援した。
- ウ 基本チェックリストを希望者へ実施した。
- エ 指定居宅介護支援事業者への業務委託

(3) 介護予防事業

① 指定介護予防支援事業(予防給付)

- ア 予防給付(訪問看護・福祉用具貸与等)のみ、または、予防給付と総合事業サービスを組み合わせて利用する要支援者へのケアマネジメントを提供した。
- イ 現行相当サービスの必要な方に対する確認書を作成し、状態に合ったサービスが利用できるよう支援した。
- ウ 指定居宅介護支援事業者への業務委託

② その他の事業

- ア 希望者へ、住宅改修費支給に係る理由書の作成を支援した。
- イ 希望者へ、福祉用具購入申請書の作成を支援した。

(4) 資質向上の取り組み

- ① 県内外で開催される包括職員基礎研修・管理者研修・課題別研修の他、ネットワーク実践力養成研修、介護予防ケアマネジメント研修の研修等へ積極的に参加し、業務に必要なスキルアップを図った。
- ② 包括管理者会議の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12回
- ③ 係内研修の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12回
- ④ 事例検討会、ホワイトボードミーティング等の定期的実施・・・・・・ 事例検討会3回
- ⑤ 介護支援係と合同の課内研修会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1回

(5) 地域包括支援係(柏崎市西地域包括支援センターまちなか・くじらなみ)実績

① 総合相談・支援事業相談受理件数

ア まちなか

相談実績	実人数	延人数
年間相談者数	446人(453人)	448人(450人)

イ くじらなみ

相 談 実 績	実人数	延人数
年間相談者数	310 人 (223 人)	316 人 (241 人)

ウ 共通の支援基盤構築事業

項 目	まちなか	くじらなみ
地域活動への参加	25 回 (36 回)	54 回 (38 回)
地域包括支援センター連絡会議	12 回 (10 回)	12 回 (10 回)
地域包括関係会議等	31 回 (26 回)	42 回 (52 回)
関係機関との会議等	26 回 (9 回)	32 回 (33 回)
認知症関連業務の実施	27 回 (27 件)	28 回 (16 回)

エ 権利擁護事業

項 目	まちなか	くじらなみ
日常生活自立支援事業活用支援	29 回 (6 回)	7 回 (0 回)
成年後見制度の活用支援	3 回 (11 回)	20 回 (0 回)
虐待 (疑い含む) への対応	52 回 (19 回)	47 回 (15 回)

※虐待対応が急増し、対応困難な事例が増えている。

オ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

項 目	まちなか	くじらなみ
地域ケア会議の企画・開催	36 回 (50 回)	31 回 (31 回)
困難事例対応 (CM あり)	112 回 (67 回)	110 回 (42 回)
困難事例対応 (CM なし)	189 回 (39 回)	82 回 (104 回)
医療関係機関との会議への参加	14 回 (2 回)	9 回 (0 回)
ケース検討会への参加	9 回 (35 回)	6 回 (10 回)
ケアマネ連絡会の企画、参加	9 回 (10 回)	11 回 (11 回)
ケアマネ研修会の企画、参加	1 回 (4 回)	1 回 (5 回)

カ 介護予防ケアマネジメント事業

項 目	まちなか	くじらなみ
年間介護予防ケアマネジメント総数	803 件 (422 件)	538 件 (329 件)
月平均介護予防ケアマネジメント自前作成	43 件 (24 件)	40 件 (24 件)
月平均介護予防ケアマネジメント委託作成	24 件 (11 件)	5 件 (4 件)
月平均介護予防ケアマネジメント作成総数	67 件 (35 件)	45 件 (28 件)

キ 指定介護予防支援事業所

項 目	まちなか	くじらなみ
年間介護予防サービス計画作成数	633 件 (1, 116 件)	450 件 (732 件)
月平均介護予防サービス計画自前作成	38 件 (65 件)	18 件 (41 件)
月平均介護予防サービス計画委託作成	15 件 (28 件)	19 件 (20 件)
月平均介護予防サービス計画作成数	53 件 (93 件)	37 件 (61 件)

ク 任意事業

項 目	まちなか	くじらなみ
住宅改修支援事業：理由書作成	8 件 (9 件)	5 件 (7 件)
福祉用具購入費支給申請手続支援	4 件 (1 件)	4 件 (3 件)

○ 障害福祉事業課 (障害福祉サービス係、相談支援係、かしわハNZ)

1 障害者居宅介護等事業

障害福祉サービスでは、刈羽村を含む市内全域にサービスを提供し、新規利用者の円滑な受入れに努めた結果、4つの事業の月平均派遣件数は昨年とほぼ同数となった。

在宅において身体介護、生活援助、同行援護、移動支援等の多様なサービスを迅速かつ適切に行うことができるように係内研修を充実し、また、外部研修への派遣を積極的に行うことにより、職員一人一人のスキルアップに努めた。

(1) サービス提供体制の充実・強化

- ① サービス提供責任者による訪問介護員へのきめ細やかな指導及び業務管理の実施
 ・・・・ サービス提供責任者4人を配置し、訪問介護員のスキルに応じた指導及び業務管理
- ② 訪問手順書及びサービス提供マニュアルの定期的な見直し ・・・・ 毎月定例の検討会
- ③ 介護者等への療養や介護に関する助言・指導の実施 ・・・・ 訪問時又は、電話による相談
- ④ 効率的な訪問計画の作成と稼働率の向上 ・・・・ 他係と連携し、稼働率の低下を防止
- ⑤ 関係機関との連携 ・・・・ 行政主催のワーキングに参加し、関係機関との連携に努めた
- ⑥ 緊急時訪問体制の強化 ・・・・ 緊急時訪問 1 件
- ⑦ 同行援護従事者養成研修の受講 (資格取得) ・・・・ 2 人

(2) 職員の資質向上

- ① 職員一人ひとりの技能に応じた研修計画の作成と実施
 毎月定例の係内研修の実施
 内容：事故対応、利用者の緊急時の対応について、守秘義務・個人情報について、認知症の理解、調理実習、虐待について、コミュニケーション技法、情報共有について、てんかんの知識、緊急法、アンガーマネジメント
- ② 難病疾患の受入れを継続した
- ③ 県内及び県外の研修会への参加 ・・・・ 10 人
- ④ 自己点検振り返りシートの活用 ・・・・ 2 月
- ⑤ サービス提供責任者会議の実施 ・・・・ 24 回

(3) 事故防止への取り組み

- ① 苦情対応・介護事故・車両事故事例、ヒヤリハット事例の収集・分析
 ・・・・ 苦情処理報告、事故・ヒヤリハット報告により収集、分析を実施
- ② 事故防止策等、緊急時対応マニュアルの見直しの実施 ・・・・ 4 月、9 月
- ③ 緊急時対応についての研修実施 ・・・・ 4 月、12 月

(4) 広報活動等の実施

- ① 定期的なヘルパー情報紙の発行 ・・・・ 5 月、6 月、1 月発行
- ② 利用者・介護者へのサービス満足度調査：2 月実施 (配布 61・回収 45・回収率 73.77%)

(5) 訪問実績

① 居宅介護事業

※ 0 内は 29 年度の実績

年間派遣世帯数	900 件 (982 件)
年間派遣延件数	8,878 件 (8,716 件)

② 同行援護

年間派遣世帯数	154 件 (146 件)
年間派遣延件数	772 件 (747 件)

③ 重度訪問介護

年間派遣世帯数	1 件 (1 件)
年間派遣延件数	1 件 (1 件)

④ 地域生活支援事業 (移動支援事業)

年間派遣世帯数	299 件 (316 件)
年間派遣延件数	948 件 (1,061 件)

2 相談支援事業所おうぎまち

新規ケースは月 1 件程度であり、介護保険への移行や死亡等により計画相談件数が減り、その結果、実績も減少した。計画相談業務は、モニタリングによる収入が毎月でないため、請求数にも波がある。

また、困難性の高いケースも数多く担当しており、実績に反映しない支援の多さに苦慮している。新規依頼については積極的に受入れ、一般相談支援者についても、必要に応じて計画相談に繋がるサービスの提示を行い、計画相談支援に繋げるよう努めたが収支の均衡を図ることができなかった。

(1) サービス提供体制の充実・強化

① 指定一般相談支援 (都道府県が指定) の実施

ア 地域移行支援、地域定着支援 支援実績なし

イ 基本相談支援

地域の障がい者等の福祉に関する諸般の問題に対して、障がい者本人、保護者又は介護を行う者等、関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、指定障害福祉サービス事業所等との連絡調整を行った。

② 指定特定相談支援 (市町村が指定) の実施

ア 計画相談支援

障害福祉サービスの利用を希望する障がい者への障害福祉サービスの利用申請支援、適正なアセスメントに基づくサービス等利用計画の作成及びサービス提供事業所との連絡調整やその後のモニタリングの実施など利用者の意向に沿ったサービスの利用支援を行った。

イ 基本相談支援

窓口相談者への必要な情報の提供及び助言並びに地域生活支援事業サービス利用希望の障がい者に対する各事業所との連絡調整支援を行った。

③ 指定障害児相談支援 (市町村が指定) の実施

障がい児及びその保護者の意思を尊重し、自立した生活や将来的な社会参加を目指して、必要な情報の提供や助言、行政及び関係機関との連携を図りながら必要な障害福祉サービス利用へつなぐ支援を行った。

④ 関係機関及び他職種との連携を密に行った。

(2) 職員の資質向上

① 有資格者の確保・育成のため相談支援専門員初任者研修 2 人

② 市内、県内の各種研修への参加 各種研修に随時参加、県外研修 2 人参加

③ 介護保険のケアマネジャーと情報交換する機会の設定及び介護保険への円滑な引継ぎを行い、利用者 3 人が介護保険に移行した。

(3) 事故防止への取組

- ① 苦情対応・介護事故・車両事故事例、ヒヤリハット事例の収集・分析を行った。
- ② 事故防止対策等及び緊急時対応マニュアルの見直し 4月、9月
- ③ 緊急時対応についての研修実施 1月

(4) 計画実績

① 計画相談支援

相談支援専門員数	利用者契約数	実績件数
3人(3人)	132件(137件)	411件(459件)

② 一般相談支援

相談支援専門員数	利用者契約数	実績件数
3人(3人)	契約なし(契約なし)	請求なし(請求なし)

3 かしわハNZ

就労継続支援B型事業において平成30年4月、訓練等給付費の制度が大幅に変更となった。本事業所は、事業継承により新規事業所扱いとなったことから、報酬単価が減額した。

その後、年度上半期の平均工賃支給額が報酬単価に反映されたことにより、10月からの収入は微増をみたが、年間の収入は予算に届かなかった。

日中一時支援事業では、平日の利用者は少ないものの、特別支援学校の生徒が長期休暇を利用して体験を兼ねて利用した。その結果、次年度の就労継続支援B型事業の利用に繋がっている。

(1) 就労継続支援事業B型の運営

① 利用者数 3月31日現在

定員数	登録者数 (男性)	登録者数 (女性)	合計
20人	10人	15人	25人

② 稼働日数及び利用状況 ※ ()内は月平均

稼働日数	利用延人数
244日 (20.33日)	4,746人 (395.5人)

③ 支援計画の実施

ア 個別支援計画の作成状況

利用者一人一人の状況やニーズを把握し、利用者の意向を踏まえた支援計画を作成し、目標達成に向けて支援を行った。年齢や体調に合わせ、希望に沿った計画のもと、利用者の状況は安定している。

イ 特定相談支援事業者との連絡調整

市内3カ所の相談支援事業所と連携した結果、他のサービスに繋がるなど、少しずつ利用者の在宅生活の充実が図られた。

ウ 社会的活動の支援（生活・相談及び余暇活動支援）

(ア) 社会見学旅行

そこに働く人の様子や仕事に対する姿勢を学ぶと同時に、人ごみに慣れる、並んで待つことを体得するなどの、社会性を身につける訓練として実施。

開催日 9月27～28日

行き先 東京ディズニーランド、上野動物園他

参加人数・・・39 人

(イ) 絵手紙教室

開催日・・・毎月 1 回実施（年間 12 回）

開催時間・・・毎回 15:30～16:30

実施場所・・・かしわハNZ別棟多目的室

作品展示・・・6 月に東本町にある中部写真工業のショーウィンドウを借りて、作品を展示した。

(ウ) カラオケ体験

開催日・・・8 月 31 日

実施場所・・・カラオケまねきねこ柏崎店

参加人数・・・32 人

(エ) 納涼会

開催日・・・7 月 20 日

開催場所・・・さん蔵柏崎店

参加人数・・・32 人

(オ) クリスマス会

開催日・・・12 月 7 日

開催場所・・・かしわハNZ

参加人数・・・34 人

エ 保健衛生及び健康管理

(ア) 保健衛生

利用者の日常の健康状態を把握するために、協力医療機関を定め、定期健康診断を実施した。

協力医療機関 恩田クリニック

定期健診実施日 11 月 29 日

実施場所 かしわハNZ別棟多目的室

(イ) 健康管理

日ごろの運動不足を解消するため、体力づくりを実施した。

・第一回体力づくり（バトミントンなどの体験）

実施日・・・5 月 25 日

実施場所・・・国営越後丘陵公園

参加人数・・・31 人

・第二回体力づくり（ニュースポーツ体験）

実施日・・・3 月 1 日

実施場所・・・柏崎市総合体育館

参加人数・・・32 人

④ パンの製造及び販売

ア 利用者の能力、適性にあった作業の安全確保

利用者本人の能力や適性などをできる限り考慮し、利用者本人の希望する仕事を提供した。

イ 品質向上や商品開発の推進及び販路の拡大による工賃の増額

6 月のわいわいがやがやフェスティバルにおいて、アイデアパンコンテストを実施し、最優秀賞、優秀賞の 3 点を選出した。選ばれた 3 作品を商品化し、12 月から 1 か月ずつ一般販売したところ好評を得た。

併せて、平成 31 年度の一般販売実施に向け、ランチボックスの試作に取り組むなど、新商品の開発に努めた。

また、販売先については企業の撤退により減少したが、8月から試験的に販売を行っていた事業所の売上げが順調に伸び、11月から販売回数が増加するなど販路が拡大し、利用者工賃の増額に繋がった。

さらなる工賃増額を目指し、昨今、高騰する仕入をコストダウンするため、原材料等の見直しに向けた取組みに着手した。

ウ 各事業所での販売状況

	年間合計	月平均
稼働日数	244 日	20.33 日
販売数	1,803 個	150.25 個
同行した利用者人数	1,571 人	130.91 人
配達数	2,031 回	169.25 回
同行した利用者人数	526 人	43.83 人

エ 利用者の他事業所見学の実施

就労移行・就労継続支援 B 型の他事業所を見学し、日頃の作業を振り返ることで、作業意欲を高めることができた。

実施日・・・6月22日

見学先・・・NPO法人アビリティィ燕、福祉作業所トム・ソーヤ、ふれあい喫茶ばば

参加人数・・・33人

(2) 日中一時支援事業の運営(社会適応訓練)

① 利用者数 3月31日現在

定員数	登録者数 (男性)	登録者数 (女性)	合計
5 人	7 人	1 人	8 人

② 稼働日数及び利用状況 ※ () 内は月平均

稼働日数	利用延人数
244 日 (20.33 日)	259 人 (21.58 人)

(3) 新たな取り組みの検討

① 事業所建物の増改築

増改築に関する検討チームを結成し、建物視察を含む各種取組みについての検討を開始した。

② グループホームの開設

保護者会向けグループホーム説明会実施後、アンケート調査を実施した結果、保護者の大半が、今すぐではなく将来に向けての開設を希望していることから、検討を一旦終了した。

③ 利用者の送迎事業

グループホーム開設に関する検討と一体的に検討していたが、グループホームの開設が将来的な検討課題となったため、次年度以降、自宅からの送迎も含めた事業の実施について検討することとした。

○通所介護事業課(赤坂山・松波・北条デイサービスセンター・シニアエクササイズさんわ)

介護報酬改定により、1割～2割程度の減収となった。しかし、暖冬傾向であったことや新規利用依頼が年度後半に多くあり、利用者数は、前年度並みを維持し、また経費を削減することにより、収支差額を確保した。

また、柏崎市では、現行相当サービス利用者の更新者の多くを総合事業のサービスAに移行する方針が出されていることもあり、取り組む事業者も少なく受入を制限せざるを得ない状況の中、利用者の在宅生活を継続支援するため、リハビリを充実させ、質の高いサービス提供に努めた。

1 通所介護事業

(1) 赤坂山デイサービスセンター 一般型定員 39 人、短時間午前 10 人／午後 10 人

- ・専任の理学療法士を配置し、個別のリハビリメニューを作成し実施、評価することで、利用者のリハビリに対する意識が向上した。短時間デイサービスでは、リハビリに特化しており、特に機能訓練への意識が高く、機能の向上が図られた。
- ・利用者確保においては、年度当初に新規依頼が多数あり、積極的に受入を行ったが、今夏の猛暑や気候の変動により利用者が体調を崩し、キャンセルが相次いだ。その反面、例年、冬季間においては、利用者が減少する傾向にある中、今年度は暖冬傾向であったことと、新規依頼が多かったことから、利用者が増加した。また、送迎体制を見直し、年度末には、試行的に利用希望の多い谷根地区への増便を図り、集客に努めたところである。

なお、一般型(総合事業除く)は、1日平均 31.5 人程度となっている。

① 利用状況

* () 内は、短時間デイサービス利用者数再掲

年度	営業 日数	延利用者数	一 般 型			キャンセル数	平均利用者 (人／日)
			一般 (要介護 1～5)	現行相当 サービス	総合事業		
			延利用者				
30 年度	312 日	11,255 人 (2,822 人)	9,551 人 (1,118 人)	292 人 (292 人)	1,412 人 (1,412 人)	230 回	36.1 人 (9.0 人)
29 年度	310 日	10,907 人 (2,352 人)	8,555 人 (1,081 人)	2,019 人 (883 人)	333 人	200 回	35.2 人
増減	2 日	348 人	996 人	△1,727 人	1,079 人	30 回	0.9 人

② 実施行事一覧

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
花見ドライブ		ミニ閻魔市		デイサービス交流	敬老会
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
運動会	紅葉見学 ドライブ	忘年会 デイサービス交流	新年会	節分 (豆まきゲーム)	お疲れ様会

(2) 松波デイサービスセンター 一般型定員 30 人 認知症対応型定員 7 人

- ・近隣に競合施設も多くあることから、新規依頼が少なく、利用者の確保に苦慮した。そのため、できる限り利用者の意向に合わせたサービス提供を行えるよう送迎範囲の拡大等検討したが、状況は好転できなかった。
- ・認知症対応型デイサービスは、他法人の廃止により、市内では当事業所のみとなった。認知症利用者においては、個別のメニューを提供し、職員が専属で対応することで、質の高い認知症ケア

を实践した。また認知症対応型デイサービスは地域密着型サービスであることから、10月4日と3月14日に運営推進会議を松波デイサービスセンターにて開催した。

- ・障がい者のデイサービス(基準該当生活介護)の実施については、松波地区の障害者施設の入所者3人が利用され、入浴(機械入浴)・食事・排泄介助などのサービスを提供した。

① 利用状況

* ()内は、サービスA利用者数(再掲)

	営業 日数	延利用 者数	一 般 型			認知症型	障害 デ イ	キャンセル 数	平均利用者 (人／日)
			一般 (要介護 1～5)	現行相当 サービス	総合事業	要介護 1～5	基準 該当		
			延利用者						
30 年度	312 日	6,807 人 (120 人)	5,322 人	183 人	196 人 (120 人)	964 人	142 人	101 回	21.8 人 (0.4 人)
29 年度	310 日	6,998 人	5,309 人	487 人	96 人	969 人	137 人	135 回	22.6 人
増減	2 日	△191 人	13 人	△304 人	100 人	△5 人	5 人	△34 回	△0.8 人

② 実施行事一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月
花見ドライブ	お茶会 大正琴	ミニ閻魔市		デイサービス交流	敬老会
10月	11月	12月	1月	2月	3月
運動会	紅葉見学 ドライブ	忘年会	羽根つき	豆まき 白鳥見学	

(3) 北条デイサービスセンター 一般型定員34人、短時間午前10人/午後10人

- ・専任の理学療法士(非常勤)が個別のリハビリメニューを作成し、実施、評価を行なうことで、利用者のリハビリに対する意識の向上に貢献した。
- ・利用者数は、年度を通じて新規依頼が比較的安定している状況にあり、総合事業への移行者も少なかったことから、収支面で安定した運営ができた。また、送迎体制を見直し、送迎範囲を高柳地域まで拡大した。
- ・雪冷房システムは、6月下旬から7月末まで稼動したところであるが、柏崎市から平成31年度以降、雪冷房施設運営費補助事業を廃止するとの通知を受けたことから、平成30年度は雪室内への集雪は実施せず、雪室内に堆積した土砂や破損した断熱材等の清掃を行った。

① 利用状況

* ()内は、短時間デイサービス利用者数再掲

	営業日数	延利用者数	一 般 型			キャンセル 数	平均利用者 (人／日)
			一般 (要介護 1～5)	現行相当 サービス	総合事業		
			延利用者				
30 年度	312 日	8, 871 人 (686 人)	7, 454 人	865 人 (134 人)	552 人 (552 人)	99 回	28. 4 人 (2. 2 人)
29 年度	310 日	8, 716 人	7, 134 人 (154 人)	1, 451 人 (597 人)	131 人	106 回	28. 1 人
増減	2 日	155 人	320 人	△586 人	421 人	△7 回	0. 3 人

② 実施行事一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月
花見ドライブ		ミニ閻魔市	民謡流し	デイサービス交流	敬老会
10月	11月	12月	1月	2月	3月
運動会	紅葉見学ドライブ	忘年会			送別会

(4) シニアエクササイズさんわ 定員：午前 15 人／午後 15 人

- ・今年度から専任の理学療法士を配置せず、赤坂山デイサービスセンターの理学療法士が兼務し、サービスの提供を行ってきたが、利用者からの要望が多くあったことから、9月～11月において、赤坂山デイサービスセンターの非常勤理学療法士が利用者のリハビリメニューの作成や機能訓練指導を行った。利用状況においては、非常に苦戦しており、新規利用依頼も少ない。また、総合事業の利用者が増えて、介護保険対象の利用者が減少したことから、平成31年1月から全体の定員数に変更はないが、総合事業利用者を午前0人から午前5人に、一般型利用者の午前15人から午前10人に変更した。収支状況は、非常に厳しいものになっていることから、利用者の確保策について検討を行っている状況である。
- ・10月12日と3月11日に運営推進会議をシニアエクササイズさんわにて開催した。

① 利用状況

* ()内は、総合事業利用者数

	営業日数	延利用者数	一 般 型			キャンセル 数	平均利用者 (人／日)
			一般 (要介護 1～5)	現行相当 サービス	総合事業		
			延利用者				
30 年度	256 日	2, 054 人	968 人	499 人	587 人	70 回	8. 0 人 (4. 2 人)
29 年度	257 日	2, 166 人	1, 177 人	808 人	181 人	0 回	8. 4 人
増減	△1 日	△112 人	△209 人	△309 人	406 人	70 回	△0. 4 人

② 実施行事一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月
外出リハ	バラ園見学				
10月	11月	12月	1月	2月	3月
運動会	紅葉見学ドライブ	デイサービス交流			外出リハ

(5) 介護者研修の受入れ事業

市内小・中学生の体験学習、専門学校、大学及び介護職員初任者研修の施設実習の受入れを行った。

実習受入	赤坂山デイサービスセンター	松波デイサービスセンター	北条デイサービスセンター
市内小・中学生の職場体験学習	66人	39人	0人
専門学校・大学生の施設実習	6人	0人	0人
その他	6人	0人	1人
合 計	78人	39人	1人

※その他

赤坂山デイサービスセンター：柏崎特別支援学校の高等部1年生のボランティア受入
北条デイサービスセンター：社会福祉士実習の受入

(6) 介護保険外サービスの実施

① 理・美容サービスを近隣の理容店の協力を得て実施した。

ア 赤坂山デイサービスセンター	198 件
イ 松波デイサービスセンター	172 件
ウ 北条デイサービスセンター	116 件

② 時間延長サービスを実施した。

ア 赤坂山デイサービスセンター	10 件
イ 松波デイサービスセンター	1 件
ウ 北条デイサービスセンター	0 件

(7) 職員資質向上

① 月 1 回の係内研修を実施した。(各デイサービス)

② デイサービス看護師研修会を奇数月で開催した。

③ 地域福祉課と在宅福祉サービス部門との合同研修会を開催した。

「災害時への取り組みについて」 7 月 30 日

「グループワークによる事例検討会」 1 月 29 日

④ 衛生委員会研修会「メンタルヘルス研修会」に参加した。 11 月 28 日

⑤ 消防署によるデイサービス A E D 研修会を実施した。 8 月 21 日

参加者 52 人

(8) サービス向上の取り組み

① 利用者アンケート調査を実施した。(12 月)

(9) 事故防止への取り組み

① 安全運転講習会へ参加した。 5 月 30 日

② 各デイサービスセンターにて避難訓練を実施した。 10 月・3 月

(10) 広報活動

① 「デイサービスだより」を市内全戸に配布した。 11 月 5 日